



国際・交流事業通信 第4号

2014.11.19 発行

2014-2015年度国際・交流事業主任

川本 龍資(名古屋クラブ)

2014 - 2015 年度

西日本区部会総集編

ワイスダム発展のため、日々のご奉仕に感謝申し上げます。国際・交流事業通信第4号は、8月終盤から10月初旬にかけて開催されました各部会の様子を、各部からのレポート形式にて発行致します。各部がそれぞれ特色を活かし、趣向を凝らし開催された様子を感じ取って下されば、幸いです。

1. 中部 【8/31(日):四日市都ホテル】若松 芳弘 実行委員長(四日市)

中部部会に遠路、多数の方々に御来臨いただき、登録数 160 名に届く心ある人々の賑わいで部会を盛り立てていただきましたことに感謝申し上げます。昨今は、異常気象のみならず、東日本大震災に劣らない東海地震・南海地震の発生が何時発生してもおかしくないとも言われています。そこで、もしかの時に備える自己防衛や、救援隊が到着するまでに地域が初動救援に当たる時に役立つ知恵を蓄えるために「東日本大震災に学ぶ」というテーマで、自衛隊の小田浩次 3 等陸佐に震災直後に救援に被災地へ行かれた体験談を基にした御講演をいただきました。

ご参加いただいたメンバーの多数から「大変良かった」「素晴らしい部会だった」と称賛の言葉を頂戴しました。

実行委員長始め多くの皆様のご支援に感謝いたします。(大西 博昭部長)



2. 六甲部【9/6(土):関西学院会館】多胡 葉子 部長(宝塚)

約140人を越えるワイズメンバーの参加のもと以下のように第三部の構成で開催された。第一部は開会点鐘、会長によるバナー入場、来賓の挨拶などの式典。第二部は講演会。講師は関西学院大学名誉教授の武田建先生。演題は「心の育ち方、育て方」。先生が今もアメリカンフットボール部のメンバーを育てておられる体験からのお話であった。それはYMCAの活動として常に心がけている弱い立場の人々への人育ての神髄が伝わるものであった。参加したメンバー全員が先生の漫談の話術に和やかな雰囲気に浸って心に響くひと時を共有することが出来すばらしい研鑽の場であった。第三部は関西学院大学の学生フラチーム(マハロ)の7人のあでやかな衣装は勿論のこと素晴らしい笑顔としなやかなフラではじまり、一同圧倒され、釘付け状態。アンコールまで出る盛況ぶりのスタート。そして真ん中に出されたブッフェスタイルの食事にあつまり、賑やかなワイズならではの交流のひと時をすごし盛況のうちに六甲部部会は終えることが出来た。



3. 阪和部【9/13(土):和歌山YMCAホール】三木 求 部長(和歌山)

阪和部では、部会のホストはその年度に部長を輩出しているクラブが担当することとなっています。和歌山クラブでは、東 正美実行委員長を中心に、和歌山クラブのメン・メネットが一丸となり、約半年の準備期間を持ち手作りの部会を開催しました。今回の部会の特色は、

- ・今年度の部長主題「共にひとつの“わ”になって!!」を具現化する部会とし、部会とメネット会を一体化する。
- ・部会の原点に立ち返った部会を目指す。
- ・和歌山は、大阪から距離的に離れていることもあり、参加者に交通費等のご負担も多くなることから、できるだけ安い登録費を設定する。というものでした。

当日は、阪和部内全8クラブによるバナーセレモニーによりスタートし、主査・主任、連絡主事や、各クラブ会長から活動状況や取り組み等の発表があり、メン・メネットと共にメネット事業国内プロジェクト希少難病問題について勉強しました。当初の企画どおり、原点に立ち戻った部会を開催することができたものと思います。なお、安い登録費でやり繰りして得た益金は、部会計に入れることもできまし



4. 京都部【9/14(日):ANAクラウンプラザホテル京都】 畑本 誠 部長(京都トービー)

オープニングは光と音で始まった。テーマは「行雲流水」、音楽と共に雲が行き、水が流れるシーンが続々いよいよ始まります。

開会点鐘で始まる予定が、部長がなにを勘違いしたのか、開会の挨拶を始めてしまった。途中で気がついて挨拶はストップ、そして改めて開会点鐘からやり直し、ワイズソング斉唱のあと、無事部長挨拶のあと全てのセレモニーが終わり 1部会無事終了。そのまま 2部会の懇親宴へ突入、場が和やかになり、宴会は続いた。

途中それぞれの部やクラブからアピールが続いた。その他の催し物はなく、本来の懇親会が続いたのは良かったと思う。

最後に部長と主査がステージでパフォーマンスをして終了。最初から最後迄、音と映像に溢れた感動的な部会であった。



5. 中西部【9/20(土):大阪キャッスルホテル錦城閣】 清水 汎 部長(大阪)

平成 26 年 10 月 20 日 15 時から、西日本区の他部からの 54 名のワイズメン、メネットを含めて、155 名の参加者を集めて清水 汎部長のもと、中西部会が大阪キャッスルホテルで催された。評議会ならびにメネット会の報告がなされ、さらに部会の 5 主査と各クラブ会長 9 名による活動方針等が発表された。

美味しい中華料理に舌鼓をうったのち、部会のメインである講演がなされた。癌などによる末期医療「ホスピス」の日本での先駆者である、淀川キリスト教病院理事長の柏木 哲夫先生の「命にそいで」というタイトルで、末期医療についてわかりやすく話され、多くの共感を呼び起した。

また、西クラブを中心とした中西部のメンバーによる、来年 6 月の西日本区大会のアピールがなされた。更に京都パレスクラブのメンバーを中心とした京都部から、来年 8 月に京都で開催されるアジア大会についてのアピールも行われた。 最後に、YMCA の歌を一同で合唱してお開きとなった。



6. びわこ部【9/21(日):大津プリンスホテル】 林 俊博 部長(大津)

去る 9 月 21 日 (日) に、大津プリンスホテルで第 19 回びわこ部部会が開催されました。

びわこ部のメンバー数から、どれだけの参加が見込めるか多少心配していましたが、東日本区や九州部からと、参加者は 130 名を超えることとなりました。

部会は、第 1 部 式典、第 2 部 講演会、第 3 部 懇親会の 3 部構成。

第 2 部の講演会は、阪神・淡路大震災以降地震・水害、さらに将来発生が危惧されている南海・東南海・東海での巨大地震のこともあり、各地での災害現場で活躍されている 松田 曜子氏（関西学院大学災害復興制度研究所特任准教授・研究員）による「まるごと地域防災」と題した内容でお話していただきました。

第 3 部の懇親会では、地元仰木の小中学生による「仰木太鼓」の演奏で幕開けしました。児童・生徒による大変迫力ある演奏で、懇親会にふさわしく一気に盛り上がったように感じました。その後、アジア大会、西日本区大会などのアピールがされ、盛会のうちに大会を終了しました。



7. 西中国部【9/27(土): 岩国YMCA・岩国シティビューホテル】 森重 雅伸 部長(岩国)

今回、初めて部長として部会を地元岩国にて開催しました。

事前に、米軍岩国基地内レストランにて行う予定にしており、住民票やパスポートのコピーを提出等、大変なご迷惑をおかけしました。部会の冒頭の挨拶で、お詫びから入り申し訳ない気持ちです。

部会そのものは、岩国Y M C Aにて行い、二之方良枝さんのユースコンボケーション報告、メネットの希少難病患者支援の講演会と繊々と進行し、懇親会は近くのホテル屋上レストランを貸し切って始まりました。坂田ワイズの配慮により、基地内レストランのピザがふるまわれ岩国と岩国みなみの両クラブメンバーが各テーブルを回り、話に花を咲かせた次第です。

参加された皆様から、温かいお言葉とねぎらいのお言葉をいただき、大変感謝の気持ちで一杯でした。ただ、正直視点をもっと部内クラブにおいて考えなければと後悔しています。

今後は、100人委員会の始動開始に向けてEMC並びに各クラブの内部事情に配慮して部会運営を行っていく所存です。



8. 九州部【9/28(日):亀屋ホテル華椿】 亀浦 正行 部長(熊本にし)

1876年1月30日、洋学校の生徒達が熊本の花岡山で「奉教趣意書」に誓約した時から遡ること240年余前の天草島原の乱での出来事は私達ワイズメンとの間に、どのような「想いの系譜」が流れているのでしょうか。

交通手段は煩雑にはなるが、是非天草の地で開催したいと実行委員の皆様の意見が一致しました。部会では「宗教と地域文化」の題で龍谷大学短期大学部の窪田和美教授に基調講演願いました。

翌日のエクスカーションでは、世界歴史遺産に登録推薦が決定した崎津集落と教会を地元のサンタマリア館館長の浜田献作先生に案内いただき当時の出来事を学びました。

交流においては今回ホスト、熊本にしクラブのD B Cであるペンタゴンの皆様が大勢駆けつけていただきました。また、入佐直前部長の働きで韓国クンホクラブメンバーの皆様とそのお仲間のコーラスグループの皆様が参加くださいました。

強行なスケジュールでしたが、ご来熊に心より感謝申し上げます。



9. 濑戸山陰部【10/4(土):智頭町旧山郷小学校】 早川 悟 部長(鳥取)

第13回瀬戸山陰部部会を10月4日(土)鳥取県智頭町にて85名参加で開催。会場は旧山郷小学校。木造2階建ての立派な校舎。校庭には二宮尊徳像あり。

小学校の授業形式で部会を進行。式次第の第1・2・3部は1・2・3校時とし、理事を教育長、部長を校長に見立て。授業開始5分前、手提げの鐘を鳴らし廊下を歩いて集合を呼び掛け。

- 1校時 授業(部会) 校長の歓迎挨拶 教育長の挨拶 教育長夫人の挨拶ほか
- 2校時 発表会(講演) 「山郷地区振興協議会の取り組み」 講師:藤原和寛氏
- 3校時 給食(懇親会) 山菜中心の手作り料理に舌鼓。天然もの舞茸のてんぷらは絶品。
参加メンバーに地酒持ち込み依頼。西日本各地の銘酒を味わい。

この授業で皆さんには

- ① ご自身の子ども時代をなつかしく思い出されたことでしょう。
- ② 都会にはない『鳥取の田舎らしい素朴さ』を堪能していただけたのなら幸いです。



各部部長による「部会報告」は以上です。部長始め実行委員の皆様、本当にお疲れ様でした。

公式行事を通じ、クラブ・部・区の枠を超えた「交流の機会」が与えられているワイズメンズクラブの奥行きの広さを垣間見させていただきました。次年度以降も素晴らしい計画・立案がなされ、参加者が良き交流を通じ、互いの研鑽の時が持てます事を期待いたします。